

第 1 回中野市豊田地域審議会まとめ

① 中野市豊田地域審議会の閉じ方について

合併から 10 年経過の平成 27 年 3 月 31 日をもち、豊田地域審議会はその設置期間が満了する。豊田地域審議会の終了にあたり、どのような形で閉じるかについて検討した。

〔委員意見〕

- ・ 10 年経ち、今まで多くの委員さんをご苦労し、市から回答等も出ているので、その足跡を残しつつ、要望とか提言みたいな形で市へ提出し終了するのがいいのではないかと。
- ・ 地域審議会は「旧中野市と旧豊田村の地域差をなくす」ということが一番の目的だったと思う。それがこの 10 年間でどの程度達成したかということだと思ふ。70～80% はできたと判断するなら地域審議会は終わりにしていいと思う。
- ・ 今日の会議で出た意見を精査し絞って、最後に提言ができればいいのかなと思ふ。
- ・ 豊田地域審議会は区切りとして 10 年で終了とする。

考え方の方向性 これまでの活動の検証をし、足跡を残しつつ、将来への提言をする。

② その他の意見

〔要望、提言〕

- ・ もみじ荘とまだらおの湯に使用したバイオマスの検証をするべき。
- ・ 人口減少社会だが、I ターン U ターンで中野市へ人を呼び込む施策をやってほしい。
- ・ 災害時の地域拠点の整備（手厚い補助制度による地域拠点建設等）。
- ・ 危機管理課の指導のもと区ごとに防災訓練を行ってはどうか。
- ・ 北永江、永田の水路の整備。
- ・ 継続的に農業ができるよう、上今井に堤防を作してほしい。
- ・ 支所の存続を望む。
- ・ 交通機関が少なく不安。スーパーも近くにないし、年取ったときどうなるか。
- ・ 道の駅の農産物直売所をできる限り休みなく営業してほしい。
- ・ 上今井から安源寺にぬける道路の拡幅。

〔地域差についての意見〕

- ・ 地域差というか気持ちの上での温度差があるように思う。
- ・ 水害から人家が守られればいいではなく、農業を続けるためにも堤防は必要である。このあたりに温度差を感じる。

〔その他〕

- ・ 豊田地域審議会は 10 年でいったん切るが、もし、少子高齢化など、大きなテーマに取り組むなら、地域審議会のようなものがあったもいいのかもしれない。
- ・ 平成 27 年 3 月 31 日で区切るが、合併特例債が平成 32 年まで伸びたということもあるので、新たな組織を設けていくという方向も考えてみてはどうか。
- ・ 豊田地域を網羅したような会、そういった事業を考える会みたいなものを継続的にやっていければと考えている。